

【お問い合わせ先】

キャタピラー

GCI Marketing Innovation

〒158-8530 東京都世田谷区用賀4丁目10-1

TEL. 03-5717-1292 FAX. 03-5491-5581

高所解体仕様油圧ショベルを発売

キャタピラー・ジャパン合同会社(代表執行役員:ハリー・コブラック)は、建物の解体工事で活躍する油圧ショベルCat 340F 高所解体仕様 を11月1日より発売を開始しました。オフロード法2014年基準をクリアする環境性能を備えた解体仕様の油圧ショベルで、超ロング解体仕様と2ピースブーム仕様の2つの仕様をご用意しています。

36tクラスの油圧ショベルをベースとして開発したこれらのマシンは、チルトキャブの採用、車両転倒防止警告機能、リアビューカメラ・サイドカメラの標準装備など、生産性だけではなく、パフォーマンスや安全性も向上しています。

1. Cat340F 高所解体仕様

(1) 超ロング解体フロント仕様 の主な特長

- ① 3段折れ超ロング解体フロントにより約22m(アーム先端ピン)の作業高さを確保。7～8階の建物の解体が可能です。
- ② スタブブーム部にフック式ジョイントと油圧駆動ピンを採用しており、超ロング解体フロントから掘削フロントへの換装が容易に行うことができます。専用のフロント置台を使用することで、作業員2人でも15～30分でフロントの換装作業を完了させることも可能です。これにより、上物解体作業から解体ガラ積込等のバケット作業にスムーズに移行でき、現場に複数のマシンを用意する必要がありません。
- ③ キャブは最大30度チルトし、高所作業時の上方作業視界が向上。楽な運転姿勢を確保できます。
- ④ 高い安定性を有する油圧拡張式ロングクローラ足回り仕様が用意されており、専用リンケージを採用して従来よりも大型の大割機装着が可能となり、最大重量3.1tまでのアタッチメント装着に対応できます。

(2) 2ピースブーム仕様の主な仕様

- ① 最大作業高さ約12m(アーム先端ピン)、3～4階の建物解体が可能です。
- ② 低層解体、基礎解体、バケット作業に対応する優れた汎用性を有しています。
- ③ 上付き2ピースブームシリンダにより、掘削時もシリンダが伸びず、大塊の横持ちでも接触が気にならない、手前掘作業にも優れており、パワーの要る基礎解体作業もラクラクこなせるなど、高い作業効率を発揮します。
- ④ キャブは最大30度チルトし、高所作業時の作業視界が向上。楽な運転姿勢を確保できます。

2. Cat 340F 高所解体仕様 油圧ショベルの主な仕様

	超ロング解体フロント仕様	2ピースブーム仕様	
運転質量	kg	44,300	40,500
エンジン名称	Cat C9.3 ACERT ディーゼルエンジン		
総行程容積	ℓ	9.3	9.3
定格出力	kW	234	234
全長	mm	15,180	13,050
全幅(トラック全幅)	mm	3,290	3,290
全高	mm	3,520	3,520
最大作業高さ(前方)	mm	21,650	12,529

3. 標準販売価格 (販売標準仕様、工場渡し、税別)

Cat 340F 超ロング解体フロント仕様	80,153,000 円
Cat 340F 2ピースブーム仕様	70,882,000 円

以 上

キャタピラー社について：

建設機械の歴史は、1925年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。また、1963年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。